

平成20年度第2回公立大学法人熊本県立大学理事会  
議 事 録

日 時：平成20年7月30日（水）午後3時40分～午後4時30分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：理事長 蓑茂寿太郎  
副理事長（学長） 米澤和彦  
理事（副学長） 古賀 実  
理事（事務局長） 富永安昭  
理事 横田 剛  
監事 千歳睦男

欠 席：なし

事務局：豊田事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、  
稲葉企画調整室長、鉄戸学生支援課長、枝國地域連携センター事務長、田中  
学術情報メディアセンター事務長、上村主幹、林参事

1 開会（進行：豊田次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：蓑茂理事長）

（1）審議事項

教員採用に係る枠取りについて

米澤学長から、教員採用に係る枠取りについて、資料1に基づき、文学部教員1名、枠取り事由が文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程設置に伴う補充、専門分野がイギリス文学で学部及び大学院で講義・研究指導を担当、職位が教授、採用予定が平成21年4月1日、教育研究会議及び経営会議で審議済み等の説明があった。

また、米澤学長から原則公募により募集を行うが、スカウトの場合もありうる旨の説明があった。

審議の結果、教員採用に係る枠取りについて、案のとおり、議決した。

（2）報告事項

① 平成20年度第1回熊本県公立大学法人評価委員会の概要について

事務局から、平成20年度第1回熊本県公立大学法人評価委員会の概要について、資料2に基づき、平成20年7月24日に開催され、法人から業務実績報告について説明を行い、各委員から意見が出されたこと、次回委員会で各委員の意見を踏まえた評価案が審議されること等の報告があった。

② 人吉市との包括協定締結について

事務局から、人吉市との包括協定締結について、資料3に基づき、平成20年7月22日に本学において、人吉市長、理事長、学長出席のもと包括協定の調印式を行ったこと、今後、歴史や伝統文化を生かしたまちづくりに関する連携などに取り組む等の報告があった。

③ 微量採血のための穿刺（せんし）器具の不適切使用について

事務局から、微量採血のための穿刺（せんし）器具の不適切使用について、資料4に基づき、環境共生学部食・健康環境学専攻の臨床栄養学実習で微量採血の

ための穿刺器具の一部を複数人で使用していたことが判明し、使用する器具の使い捨てタイプへの変更、関係者への説明及び謝罪、国への報告、記者会見での公表を行ったこと、また、教務入試課内に相談窓口設置し、医療機関での検査を希望する者に対し大学が費用負担して実施することとしている等の報告があった。

④ オープンキャンパス及び高大連携“SUMMER COLLEGE”の開催について  
事務局から、オープンキャンパス及び高大連携“SUMMER COLLEGE”の開催について、資料5に基づき、平成20年7月21日に文学部及び環境共生学部、翌週27日に総合管理学部に係るキャンパス見学会及び模擬授業を開催し、両日でオープンキャンパスに約2,200名、高大連携“SUMMER COLLEGE”に約750名の参加があった等の報告があった。

⑤ 平成20年度国公立大学を通じた大学教育改革の支援等プログラムへの申請状況について

古賀副学長から、平成20年度国公立大学を通じた大学教育改革の支援等プログラムへの申請状況について、資料6に基づき、平成20年度国公立大学を通じた大学教育改革の支援等プログラムに関して、4つのプログラムに5件の申請を行った等の報告があった。

⑥ 平成19年度休学・退学・留年の状況について

事務局から、平成19年度休学・退学・留年の状況について、資料7に基づき、休学者数は毎年50名前後で推移し、理由としては「進路についての悩み」及び「経済事情」が近年増加傾向にあること、退学者数は毎年30名前後で推移し、理由としては「進路変更」及び「就職」が年々増加する傾向にあること、留年者数は3年次進級、卒業判定とともに全体としては減少傾向にあるが、19年度の留年者数のうち2回以上留年の学生が3年次進級で全体33名のうち18名、卒業判定で全体46名のうち20名を占めること、今後も個別に分析し、組織的に対応していく旨の報告があった。

#### 4 その他

次回理事会は平成20年10月29日（水）経営会議終了後を予定している旨を確認した。

#### 5 閉会

以上